

花の浮島、礼文島における 持続可能な外来種防除システムの構築

ひろげる助成

3年目

実践

建設業者の参加	65人
外来植物 ハンドブックの発行	300部
今年度計画の達成度	90%
目標達成度	100%



礼文建設協会との合同イベント

苦勞した点と工夫した点

■ 苦勞した点

高山植物の栽培には手間がかかり、予定よりも苗を育てることができなかった。

■ 工夫した点

育苗から播種を中心とした方法に転換した。植生調査では実生が多く確認できた。

課題

花の島として名高い礼文島の「海岸より咲く希少な高山植物群落」を守るためには、持続可能な外来植物防除の仕組みが必要である。

目標

礼文島内外から協力・参加できる仕組みを整えることで、外来植物を減少させる。

活動内容と成果

外来植物を減らすために、「外来植物の除去」と「島在来の植物の育成」の両面から活動を進めた。また、活動が効果的に進められるように植生調査も行った。

外来植物の除去活動には島を訪れる観光客のほか、地元建設業者に協力してもらい自然度の高い歩道沿いから外来植物の多い道路法面まで広く実施した。植生調査では、専門家の協力を得ながら計153種の外来植物リストを作成。礼文島の外来植物問題を知ってもらうために外来植物ハンドブックも発行した。



礼文島の外来植物をまとめたハンドブック



高山植物の苗

全助成期間の活動を振り返って

礼文島は低地から高山植生が広がり、日本でも貴重な自然のある場所。しかし、この島で「普通」の植生は、外来植物とも出会いやすく、他地域以上に対策を考える必要があった。北の離島という特殊な地域で持続可能な実施体制を整えるため、島を訪れる観光客と協力して対策を進める方法を検討した。活動を通じて、多くの協力が得られたとともに、地元事業者との協働体制もできたなど、当初の想定以上に広がりのある活動となった。

| 活動地域 | 北海道礼文島

〒097-1111

北海道礼文町香深村字トンナイ ネイチャー礼文

電話：0163-85-7830

E-mail：nature@rebun-sjc.org

http://rebun-sjc.org/



今後の展望

礼文島の外来植物対策は今後も長く継続していかなければならない活動である。これまでは、外来植物の除去や在来植物の育成、植物調査など、それぞれに進めているところがあった。また、活動に関わってくれた多様な参加者についても参加者同士の関わりは少なかった。そこで今後は、活動や参加者のつながりを意識して結び合わせるような企画を進め、より一体感のある活動にしていきたいと考えている。